

C 協働学習（C1）

主な学習活動

仲間の打撃フォームを撮影した動画を見て、学習した運動のポイントを基に、よい点や改善点をアドバイスし合う。

1 本時のねらい

基本的なバット操作を理解し、止まったボールを力いっぱい打つことができる。

2 主に活用したICT機器・コンテンツ等

カメラ機能

ファイル共有

3 参考にしてほしいポイント

カメラ機能を使って動画撮影したものを、一人で振り返るのではなく体育班の仲間と一緒に振り返ることで、自分だけでは気付かなかった改善点や練習すべき点について気付くことができる。また、班の全員で指摘することでバッティング練習の時間の学び合いにつなげることができる。

段階 場面	主な学習活動	ICT機器活用のポイント
(授業中) 展開	友達の打撃フォームを撮影する。	(ロイロノート) 授業中に撮影した動画を再生してチェックする。チェックする前に、授業の中で学習した打撃のポイントやコツについて確認して板書しておくことで検討しやすいようにした。また、伝えてもらったことは体育ノートに記入しておくようにした。
朝の 学習	打撃フォームを撮影した動画を見て、良い点や改善点を見つけて伝え合う。	



バットを持つときは、手と手をくっつけて握るようにするよ！間が空いていると腰を回転させながら、強いスイングができないよ。



「ぶんくる体操」で練習したみたいに、腰をしっかり回転させ、バットが途中で止まるきゅうくつなスイングにならないように練習しよう。



ティーに対して立つ位置が近くなりすぎると、バットの芯で打てないよ。バットの芯に当たる位置に合わせて確かめてみよう。

4 活用効果

子どもたちは、この動画検証会をきっかけに、ここで共有した仲間の課題を一緒に解決しようと練習の中で身振り手振りを使ってアドバイスする姿が多く見られるようになり、学び合う姿が多く見られた。また、バッティング練習やゲーム中に動画撮影をした物を振り返りの時間や休み時間に見直して、話をする姿も見られ、主体的に学習に取り組む態度を育むことにもつながった。

5 アドバイザーからのコメント

体育における身体の動き方については、動画再生による振り返りが役立ちます。この場合、一人だけではなく、複数で対話しながら視聴することで、新たな気付きが生まれます。さらに、気付きを言語化し書き残すことで定着しやすくなると報告されています。
(東京工業大学 赤堀侃司)

自身の状態を客観的に確認し動きを修正する際に、カメラで動画撮影して振り返ることは効果が期待されます。確認の際に動画を静止状態にしてペンツールなどで書き込みをすることで、より具体的な改善策の記録を残すことも期待できそうです。
(福島大学 平中宏典)